

身近なところでごみを減らすひと工夫

ひと工夫することでさらに減量・資源化することが可能です。
ごみを出す前にもう一度確認しましょう。



- 💡 生ごみのほとんどは水分です。水切りするだけで、生ごみの重量を減らすことができます。



上手に水切りする方法

- ① 野菜の皮などの乾いているごみは濡らさないで、直接ごみ袋に入れましょう。
- ② 台所のストレーナや三角コーナーの生ごみは、水分を切るため一晩置いてから出しましょう。
- ③ 台所のストレーナや三角コーナーの生ごみは、ペットボトルの底などで押して水分を十分に切りましょう。

- 💡 可燃ごみには「紙類」が多く含まれています。「封筒」や「包装紙」など、「雑がみ類」として資源になるものがまだまだあります。



雑誌・本・紙袋・紙箱・包装紙
封筒・オフィスペーパー等
その他、紙製容器包装の表示があるもの



防水加工紙製品・カーボン紙・プラスチック複合製品・感熱紙・粘着物の付いた封筒・その他、紙以外のものは燃やすごみになります。また、名刺サイズより小さい紙も燃やすごみになります。

広げよう!ひとの環・行動の環

～地球温暖化防止・低炭素社会～

私たち一人ひとりが身近な環境だけでなく地球規模の環境にも貢献するといった認識を持ち、日常生活の中で、環境行動に取り組むことを通して、より良好な将来の環境づくりを目指しましょう。地球温暖化防止に向けた身近な取り組みを手始めに、「ひとの環・行動の環」を広げていきましょう。ふだんの生活の中で、少し気をつければ減らせる二酸化炭素はたくさんあります。できることを選んでやってみましょう。

ごみの減量、リサイクルを推進しましょう。

- ごみの分別を徹底しましょう。
- 買い物袋を持参しましょう。
- 調理の際には食べ残しのないように必要な分だけ作りましょう。
- 生ごみは堆肥化にこころがけましょう。
- 使い捨てのものではなく、長く使えるものを選びましょう。
- 環境に配慮した製品を優先的に購入しましょう。
- 過剰包装は断りましょう。
- ばら売りや量り売りなど、包装の少ないものを選んで購入しましょう。
- 資源回収など資源ごみのリサイクルに協力しましょう。
- 家具や家電はなるべく修理して使いましょう。
- フリーマーケットやリサイクルショップを活用しましょう。

